

今年度から新たに開設しました 在宅医療・介護連携支援センター

今年度から高齢者サポートセンターに加え、より専門的で身近な相談窓口として、市内の病院と連携し「在宅医療・介護連携支援センター」を開設しました。

在宅介護などに困った時や在宅医療に関する相談がある時に、適切な助言や情報提供を受けることができますので、ぜひご利用ください。

【在宅医療・介護連携支援センター設置病院】

- ・古河赤十字病院Tel.23-7090
- ・古河総合病院Tel.47-1010
- ・総和中央病院Tel.92-7055
- ・友愛記念病院Tel.97-3000

現代社会では、地域の絆が少しずつ希薄になり、かつての「井戸端会議」のような地域の集いの場や、つながりが失われつつあります。今後、ますます高齢化が進む中で、医療や介護の支援が必要な人が安心して暮らしていけるよう、地域だけでなく市全体がつながり、支え合いの輪を広げていく必要があります。

市では、病院・薬局等の医療機関や、介護・福祉機関、行政機関等の多職種がチームとして連携し、高齢者の生活をサポートする仕組み作りを進めています。

チームで支える安心生活
つながる。私たちの
地域・医療・介護



多職種がチームとなり、
住み慣れた地域での暮らしを
サポートします。

▲古河市在宅医療・介護連携推進協議会 岩下清志会長

あなたの健康と生活を守ります 「つながりカード」

「つながりカード」は、自身の健康や生活を支える人の連絡先を記載して携帯することで、外出先で体調を崩したときに、それを見た近くの人が誰に連絡をとればいいのかを簡単に伝えることができるカードです。「もしも」に備え、利用してみませんか。

配布対象者 市内在住の65歳以上の人、介護認定を受けている人、障がい等のある人など

配布場所 高齢者サポートセンター古河・総和・三和、在宅医療・介護連携支援センターなど

問 高齢者サポートセンター総和Tel.92-5920
高齢者サポートセンター古河Tel.23-6517
高齢者サポートセンター三和Tel.77-1901



ここが便利！

家族・親族、かかりつけ医・薬剤師、ケアマネジャー等が情報共有することで、スムーズな連携が可能になります。

～どう使ったらいいの？～



「もしも」ってどんなときなの？
誰に見せればいいの？



「もしも」の時は外出先での急病時、怪我をしてしまい助けを求める必要がある時などです。また、病院に搬送されたときは、医師や看護師にカードを提示してください。



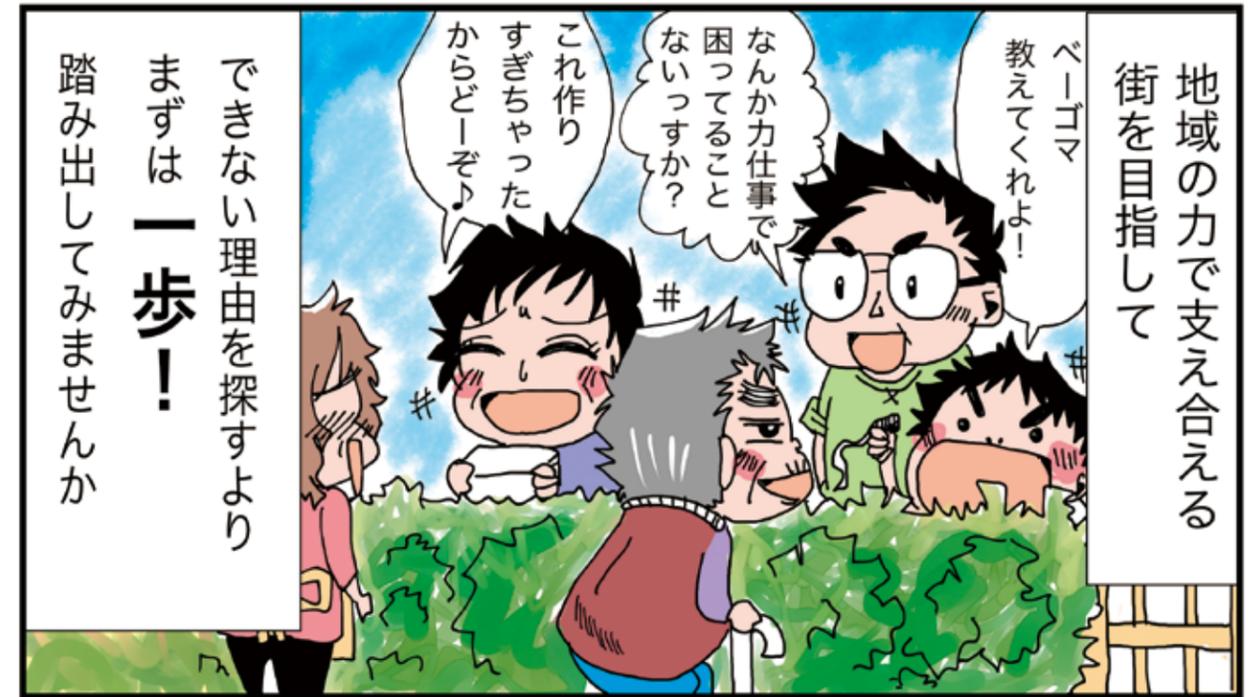
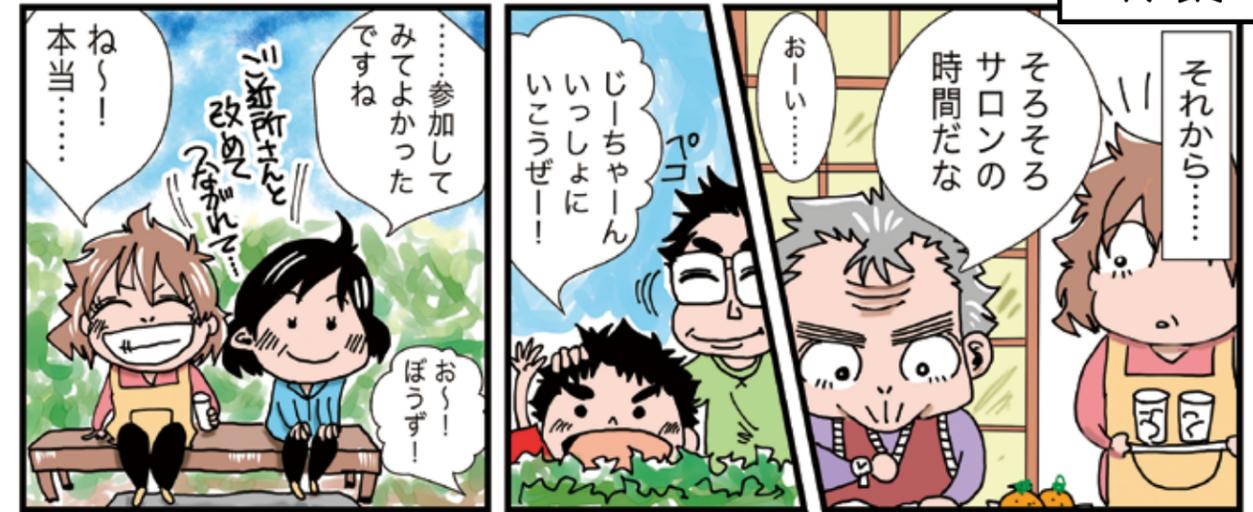
どこに携帯すればいいの？



健康保険証やお薬手帳、財布など普段から持ち歩く物と一緒に携帯しましょう。



このカードを持つことで、安心して日常生活が送れそうですね。



©2019 青山ゆずこ

～小さな困りごとを地域のつながりで解決できるように～

自身が高齢になり、生活の中でちょっとした困りごとができたとき、地域の人たちの協力は重要な「ちから」になります。市では、社会福祉協議会と共に地域のネットワークによる見守りや支え合いの体制づくりを支援しています。

また、高齢者の日常生活の相談には、高齢福祉・介護保険サービスの紹介などを地域の民生委員や医療・介護関係者と連携を図りながら対応します。



「気になること、分からないことがありましたら、ご相談ください」
【問】 地域包括支援センター総和Tel. 92-5920